

みずむし・たむし用薬

# フットガン

## ヨーブ 液

水虫・たむしは白癬菌というカビの一種が皮ふ表面の角質層に寄生して起きる疾患で、不快なかゆみや様々な皮ふ症状を伴います。

フットガンヨーブ液は、殺真菌成分ラノコナゾールを配合した水虫・たむし治療薬です。本剤は $\iota$ -メントールを配合した液剤で、患部にお使いになりますと、薬剤がすーっと爽やかな清涼感を与えながら浸透していき、ラノコナゾールが白癬菌を効果的に殺菌し、水虫・たむし症状を改善します。また、本剤に配合した2種類のかゆみ止め成分（ジフェンヒドラミン塩酸塩、クロタミトン）が、水虫・たむしの不快なかゆみをしずめます。容器には「マルチタッチバー」を採用しており、足の指の間の狭い範囲や足底の広い範囲など、どんな部位にも楽に塗ることができます。

### ⚠ 使用上の注意

#### ❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

1. 次の人は使用しないでください  
本剤による過敏症状（発疹・発赤、かゆみ、浮腫等）を起こしたことがある人。
2. 次の部位には使用しないでください  
(1)目や目の周囲、粘膜（例えば、口腔、鼻腔、膣等）、陰のう、外陰部等。  
(2)湿疹。  
(3)湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部。



#### 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください  
(1)医師の治療を受けている人。  
(2)乳幼児。  
(3)本人又は家族がアレルギー体質の人。  
(4)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(5)患部が顔面又は広範囲の人。  
(6)患部が化膿している人。  
(7)「湿疹」か「みずむし、いんぎんたむし、ぜにたむし」かがかがはっきりしない人。  
（陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い。）  
(8)妊婦又は妊娠していると思われる人。
2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください  
(1)使用后、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、刺激感、水疱、亀裂、乾燥・つっぱり感、ただれ

なお、「むくみ、息苦しさ」があらわれた場合には直ちに医師の診察を受けてください。

- (2)2週間位使用しても症状がよくなる場合や、使用后、症状がかえって悪化した場合（ただれたり、化膿したり、病巣が前より広がる等）

### 効能・効果

みずむし、いんぎんたむし、ぜにたむし

### 成分・分量（1mL中）

成分・分量	働 き
ラノコナゾール 10mg	すぐれた浸透性により白癬菌を1日1回の使用で殺菌します。
ジフェンヒドラミン塩酸塩 20mg	患部のかゆみをしずめます。
クロタミトン 50mg	
$\iota$ -メントール 20mg	患部に清涼感を与え、かゆみをやわらげます。

〔添加物〕エタノール、マクロゴール

## 用法・用量

1日1回、適量を患部に塗布してください。

### <用法・用量に関連する注意>

- (1)患部やその周囲が汚れたまま使用しないでください。
- (2)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。
- (3)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (4)外用にのみ使用してください。

## 効果的な治療方法

患部をよく洗ってから患部より広めに薬剤を塗布してください。菌の増殖や二次感染を防ぐため患部を清潔に保ちましょう。足は不潔にもなりやすいので特に清潔にしてください。また、再発しやすい病気ですから、自覚症状がなくなってからも2～4週間は治療を続けることが大切です。

## 容器の正しい使い方

- 1.容器を立てた状態でキャップを外してください。



- 2.図のように容器を逆さに持ち、液が塗布部に十分に浸透したら患部に塗布してください。なお、使い始めには液が塗布部に浸透しにくいことがありますが、その場合は容器胴部を軽く指で押し、塗布部に液を浸透させてください。

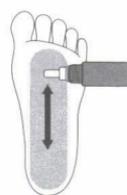


※足の指の間など狭い範囲には塗布部先端を、足底など広い範囲には塗布部側面をお使いになりますと簡単に塗布できます。

【狭い範囲に塗る場合】



【広い範囲に塗る場合】



- 3.使用後は必ずキャップをしっかりしめ、容器を立てた状態で保管してください。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)高温をさけ、直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)本剤のついた手で、目など粘膜に触れないでください。
- (5)本剤が衣類や寝具などに付着し、汚れた場合にはなるべく早く水か洗剤で洗い落としてください。
- (6)メガネ、時計、アクセサリなどの金属類、衣類、プラスチック類、床や家具などの塗装面等に付着すると変質することがありますので、付着しないように注意してください。
- (7)火気に近づけないでください。
- (8)使用期限(外箱及び容器に記載)をすぎた製品は使用しないでください。

本製品に関するお問い合わせは  
興和株式会社 医薬事業部 お客様相談センターへお願いします。  
〒103-8433 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14  
TEL 03-3279-7755 FAX 03-3279-7566  
電話受付時間:月～金(祝日を除く)9:00～17:00



発売元 興和株式会社 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14  
製造販売元 東興薬品工業株式会社 富山県中新川郡立山町辻20